2014年度の中部産業遺産研究会活動報告

Activities of the Chubu Society for the Industrial Heritage in 2014

１．総会

◆第 22 回総会 2014/05/26（名城大学名駅サテライト多目的室）出席者：41 名

１．2013年度（平成25年度）事業報告

２．2013年度（平成25年度）会計報告、研究会会計、書籍会計

３．2013年度（平成25年度）監査報告、研究会会計、書籍会計

４．規約等改正

５．2014-2015年度役員と組織

６．2014年度（平成26年度）事業計画　・創立記念事業について　平成26年度特別会計予算

７．2014年度（平成26年度）予算

○記念講演「共進会　－第十回関西府県連合共進会を中心に－」永田宏

２. 定例研究会

◆第128回定例研究会　2014/05/26（名城大学名駅サテライト多目的室）参加者：38名

１．研究報告、調査報告

［128-11-01］報告「豊橋、田原における木骨造ガラス温室」天野武弘

◆第129回定例研究会　2014/07/20（名古屋工業大学共通棟23号館2312講義室）参加者：35名

『中部産業遺産研究会創立20周年記念誌』、規約集、会員名簿　配布

１．研究報告、調査報告

［129-11-01］報告「論文つくり方、タイトル、要旨、キーワード、などについての諸問題

－『創立20周年記念誌』の編集を終えて」佐々木享

［129-11-02］報告『創立20周年記念誌』「編集について」天野武弘

［129-11-03］報告『創立20周年記念誌』「書籍リストについて」岩井章真

［129-11-04］報告『創立 20 周年記念誌』「「ＣＤ－ＲＯＭ版」について」橋本英樹

［129-11-05］報告『創立 20 周年記念誌』「ＭＡＧ（三菱オートギャラリー）・原発博物館について」　杉本漢三

［129-11-06］報告『創立20周年記念誌』「愛岐トンネルについて」山田貢

［129-11-07］報告『創立20周年記念誌』「小里川の産業遺産」田口憲一

２．その他の諸報告、保存問題など

［129-21-01］「規約集」「会員名簿」配布について　（事務局）

◆第130回定例見学会　2014/09/28　　参加者：22名

場所：揚輝荘（名古屋市千種区法王町）・揚輝荘の館内　説明：高木傭太郎、水の歴史資料館（千種区月ヶ丘）

◆第131回定例研究会　2014/11/16（名古屋都市センター11Ｆホール）参加者：61名

１．研究報告、調査報告

［131-11-01］「木曽川上流改修工事（大正改修）関連の近代的地形図の復元」馬場慎一

［131-11-02］「大学生のものづくり体験学習 たたら製鉄・ガラス製造・ピザ窯構築・

蒸気ボイラー」水野信太郎

◆第 132 回定例研究会　2015/01/25（名城大学名駅サテライト会議室）　参加者：29 名

１． 研究報告、調査報告
［132-11-01］研究ノート「真空管の技術がトランジスタに移転」渡辺治男
［132-11-02］「ドイツ・マグデブルクの技術博物館 Techinikmuseum Magdeburg を訪ねて」 石田正治
［132-11-03］「名古屋の航空史の落ち穂拾い」伊東重光
［132-11-04］「３Ｄレーザースキャナーによる構造物の測定と応用、砂防堰堤の調査測定報告」 馬場慎一
２．その他の諸報告、保存問題など
［132-21-01］個人から笹島駅「貨車転車台（跡）保存」の件（事務局）
［132-31-03］「中部産業遺産研究会ウェブサイトの現状と 課題について」岩井章真
◆第133回定例研究会 2015/03/22（大同大学滝春校舎本館14F交流会室）参加者：19名
１． 研究報告、調査報告
［133-11-01］「大学生のものづくり体験学習―たたら製鉄・ミニチュア煉瓦アーチ積・
ピザ窯構築・煉瓦ドミノー」水野信太郎
［133-11-02］「1950 年代の欧米から日本への技術移転についての考察」橋本英樹
［133-11-03］「 新発見の手回しガラ紡績機の調査から 」天野武弘
［133-11-04］「C5644 がタイ国鉄から大井川鉄道に戻る前の調査の記録（1979 年）」ビデオ提供：白井昭
２．その他の諸報告、保存問題など
［133-21-01］「博物館明治村　開村 50 周年記念式典・村長就任式」招待　永田宏
［133-21-02］「平成 26 年度名古屋市文化関係自費出版助成補助金の交付決定」通知　（事務局）

3. シンポジウム、パネル展、その他の催物

◆第 10 回パネル展と講演会　　共催：（公財）名古屋まちづくり公社名古屋都市センター
テーマ：「近代名古屋の発展と海外との関わり―戦前の国際都市名古屋―PartⅡ」
・パネル展　開催時期：2014/11/11（火）～11/24（月）
会　場：名古屋都市センター11F まちづくり広場・企画展示コーナー　 入場者：2329 名
・講演会　　開催日：2014/11/16（日）
会　場：名古屋都市センター11Ｆ　まちづくり広場・大研修室　参加者：61 名
特別講演:「名古屋・三大博覧会の意味するもの」　池田 誠一（NPO 白壁アカデミア世話人）
報告①「戦前名古屋の国際都市づくり」真野素行　（会員）
報告②「ヨーロッパとの無線通信事業」石田正治　（会員）
◆シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第 33 回　共催：トヨタ産業技術記念館　参加者：79 名
テーマ：「博物館における動態保存のあり方」
開催日：2015/02/22（日）13:00～16:45
会　場： 名古屋市西区則武新町 トヨタ産業技術記念館　ホールＡ
講　演：「近代文化遺産の保存と動態保存に関して」
中山　俊介（東京文化財研究所保存修復科学センター近代文化遺産研究室長）
講演：「動かし続けることにこだわる博物館」成田　年秀（トヨタ産業技術記念館副館長）
講演:「歴史ある工作機械をいかに蘇らせるか」三好 稔幸（ヤマザキマザック株式会社生産技術部博物館担当）
講演：「ドイツ・ラインラント産業博物館ミューラー生地工場の機械」マイヤー　オリバー（会員）
◆「ものづくり文化再発見！ウォーキング」大会（協力）

第12回：八事・マザック・テレビ塔コース　実施日：2014/06/14（土）参加者：381名
第13回：岡崎市内を巡るコース　　　　　　実施日：2014/11/16（日）参加者：630名

4. 刊行物

◇研究会誌『産業遺産研究』第21号　2014/05/25発行　240部
◇『中部における産業遺産研究のあゆみ-中部産業遺産研究会創立20周年記念誌-』07/20発行300部
◇シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回講演報告資料集　2014/02/22発行190部
◇会報（印刷物及び電子版にて発行）第56号2014/11/15、第57号2015/01/15

5. その他

◇幹事会・役員会･その他の会議､幹事会はメール会議を含み計８回実施､役員会は２回実施
・幹事会の議題は第１回：パネル展講演会・公開定例研究会の日時の件、9月見学会場所の件、創立20周年記念誌の編集作業の件、規約集、会員名簿の配布の件、第２回： 研究会の規約改正で誤植があった件、会報にＩＳＳＮ（国際標準逐次刊行番号）を取得する件、入会のしおり訂正の件、会費未納の対策の件、研究会誌「産業遺産研究」に入会のしおりを挿入する件、 第３回： 入会案内の検討、第４回： 規約・規程の誤記等の訂正の件、中部産業遺産研究会規約の誤記等の訂正、電子書籍化に対応するプライバシーポリシーの訂正、電子書籍化に対応する著作権規程の訂正、研究会の会費の件、名古屋市の文化関係自費出版助成補助金の応募、研究会のロゴマークを20周年を記念して新設する件、研究会誌発行を５月から７月発行に変更、会報の名称と１、４、７、10月の４回発行の件、第５回：名古屋市自費出版補助金の交付決定通知書の件、第６回：会報にISSNを取得の件、第７回：7月定例研究会の日時と会場の変更の件、第８回：第23回総会議案の審議
・役員会の議題は第１回：研究会規約の訂正と追加の件、研究会の会費の件、名古屋市の自費出版助成補助金の応募の件、ロゴマークを新設する件、研究会誌発行を５月から７月発行に変更の件、会報発行を１、４、７、10月とする件、研究会入会案内の会報発行を修正する件、第２回：第23 回総会議案審議、研究会のロゴマークを新設する件、「日本の産業遺産データーベース研究会」準備会の設立の件
◇第1回会報編集委員会2014/12/21、会報の編集と発行の件、発行予定と内容の件
◇シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33 回実行委員会を７回、2014/05/25、07/20、09/28、11/16、2015/01/25、03/22　に実施
◇第10回パネル展「近代名古屋の発展と海外との関わり―戦前の国際都市名古屋―PartⅡ」勉強会 を 2014/04/13、06/08、08/10、10/05　に実施
◇第11回パネル展「東海の絹･文化と産業遺産」 勉強会を、2015/02/08　に実施
◇創立20周年記念行事実行委員会　2014/01/18、03/30、05/18、06/21、07/05、07/26　に実施
創立20周年記念誌配布2014/07/20、実行委員会は2015/03/31で解散
◇『産業遺産研究』編集委員会　2015/03/22　に実施、主にメール会議にて適宜実施
◇「中部産業遺産研究会　ニュースレター　電子メール版」月に2回更新　年25回ほど発行
◇「中部産業遺産研究会　ウェブサイト」　2014/08/18　リニューアル
◇会員異動及び会員数　2014 年度の入会者４名、退会者３名（内法人１）、
2015 年３月末日の会員数は個人 124 名、法人２団体、計 126 名

2015年度の中部産業遺産研究会事業計画

Plan of the Chubu Society for the Industrial Heritage in 2015

１．総会

第23 回（2015年度）総会　2015/05/17（名城大学名駅サテライト　多目的室）

記念講演「スウェーデンの技術教育遺産としてのスロイド（手工）教育」横山悦生

２．事業計画

諸活動を通じて、産業遺産の調査研究、その保存と普及、啓蒙に努める

（１）産業遺産の調査研究

・中部地域の産業遺産の発掘、調査研究を行う

・東京文化財研究所主体の「日本の産業遺産データーベース」の構築に調査協力をする

（２）定例研究会

・原則として奇数月の日曜日の午後に開催する

・内容は産業遺産に関わる研究報告・講座・調査報告（産業遺産の見方・調べ方）、産業遺 産の保存問題、研究会誌・会報(ニュースレター)の原稿と編集、シンポジウム・見学会・その他の催物の企画、案内、文献・資料の紹介、委員会・役員会の報告、幹事会・事務局関係、近況報告

・産業遺産調査カードを利用するなどして、気軽に発表が誰でも出来るように努める

・見学会は１～２回開催する

（３）シンポジウム、パネル展、見学会、その他の催物

・第11回2015年度パネル展・公開定例研究会の企画、開催

・シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回の企画、開催

・平成27年度「ものづくり文化再発見！ウォーキング大会」(協力)

・その他、必要に応じて有志のミニ見学会等を計画し、開催する

（４）刊行物

・研究会誌『産業遺産研究』を発行する

・シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回の開催と講演報告資料集を発行する

・「会報」は、年４回発行し、定例研究会、見学会などの案内と報告を掲載する

・「電子メール版会報」を随時発行する

（５）役員会・幹事会・委員会

・役員会は適宜開催する　・幹事会は必要に応じて集まって行う。適宜、電子メール会議等によって行う

・会報編集委員会など、各委員会を適宜開く

（６）諸活動

・研究会のウェブサイトの運営と管理をする

・研究会誌『産業遺産研究』編集委員会を適宜開く

・第11回パネル展「東海の絹・文化と産業遺産 」の準備のための勉強会を開く

・シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回の実行委員会を適宜開く

（７）その他

・研究会の新会員の募集を積極的行う　法人会員の募集に努める

・名古屋市文化関係自費出版助成補助金申請を行う